

## Press Release

2024 年 11 月 吉日

公益財団法人日本オペラ振興会 <https://www.jof.or.jp>

### 太鼓腹の老騎士に学ぶ“人生哲学”

文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)） | 独立行政法人日本芸術文化振興会  
都民芸術フェスティバル参加公演  
藤原歌劇団創立 90 周年記念公演  
総監督 折江忠道  
G.ヴェルディ作曲

## 「ファルスタッフ」

### Falstaff

オペラ全 3 幕 (字幕付き原語 (イタリア語) 上演) ニュープロダクション



2025 年 2 月 1 日 (土)・2 日 (日) 14:00 開演

東京文化会館 大ホール

【開場 13:00】\*13:15 から会場内にて作品解説をいたします。※上演時間：約 3 時間 (休憩含む)

- 主催：公益財団法人日本オペラ振興会、公益財団法人日本演奏連盟
- 助成：文化庁  
都民芸術フェスティバル主催：東京都、公益社団法人東京都歴史文化財団
- 後援：イタリア文化会館/NPO 法人日本ヴェルディ協会/日本シェイクスピア協会

#### 本公演に関するお問い合わせ、および取材のお申込み

公益財団法人日本オペラ振興会 広報担当：中ノ森・外山

〒151-0061 東京都渋谷区初台 2-5-8 西新宿豊国ビル 102

Tel: 03-6721-0995 / E-mail: [press@jof.or.jp](mailto:press@jof.or.jp)

## 「ウィンザーの陽気な女房たち」が男性社会に物申す!?

### オペラの巨匠ヴェルディの終着点は、シャイクスピア原作の極上喜劇だった

藤原歌劇団創立 90 周年記念公演ラストを飾る演目は、悲劇作品でオペラ界を席卷した作曲家ヴェルディが、人生最後の作品として残した極上“喜劇”「ファルスタッフ」です。強欲で酒好きの老騎士ファルスタッフが、花を抱えて女性を口説き、川に落とされ、牡鹿の角を付け怯える姿は、なんとも滑稽で、しかしどこか憎めない愛されキャラ。そんなファルスタッフをめぐる女性陣が大活躍するのもこのオペラの魅力の一つです。今回表題役を担うのは、藤原歌劇団が誇るヴェルディバリトン上江隼人(2/1)と、喜劇作品を大の得意とする押川浩士(2/2)です。裕福な紳士で嫉妬深いフォードには、岡昭宏(2/1)と森口賢二(2/2)、ナンネッタの恋人フェントンには、中井亮一(2/1)と清水徹太郎(2/2)、フォードの妻アリーチェには、山口佳子(2/1)と石上朋美(2/2)を配しました。その他個性的なキャラクターたちを演じるのは藤原歌劇団の錚々たる面々。人生哲学満載の快活なストーリーと、オペラを極めたヴェルディの最上の音楽。都民芸術フェスティバル 2025 参加公演として、東京文化会館からお届けします。全身が喜ぶ極上の体験をぜひ劇場で!

### 〈あらすじ〉

1400 年ごろ、イギリスのウィンザーという町でのお話。そこにはファルスタッフという太鼓腹の老騎士がいて、小悪党の従者と一緒にいろんな悪さをしていました。ファルスタッフは生活費を巻き上げるために女性たちに恋の手紙を送りますが、その画策がばれ、怒った女性たちは逆にファルスタッフをだます計画をたて、彼をテムズ川に落とします。ずぶぬれになり嘆くファルスタッフですが、再度女性たちから誘われて懲りずにウキウキ。今度は夜中にハーンの樫の木の下で、妖精に変装した人たちにからかわれます。最後にはファルスタッフもみんなの策略がわかり、「この世はすべて冗談だ」と言って幕となります。

### 〈見どころ・聴きどころ〉

最晩年のヴェルディが、「軽い題材でオペラを作ってみたい」と年若い友ボーイトに告げたところ、ボーイトは秘密裡に、太っちょ老騎士を主人公とする — シェイクスピアの喜劇『ウィンザーの陽気な女房たち』と『ヘンリー 4 世』に出てくる人物 — 台本を書き上げ、それを受け取ったヴェルディも喜んだ。結果、原作に比べてシンプルな筋立てになり、登場人物の数も半分に減った極上のオペラ・ブッフア《ファルスタッフ》が誕生。1893 年ミラノ・スカラ座での世界初演は大成功を収めた。

本作では、矢のように飛び交う言葉の応酬が、軽妙なリズムのもとでスムーズに運んでドラマの軽やかさを際立たせ、声の性格表現も、様々な声種を用いて追究。その一方で、第 2 幕のフォードの独白や、第 3 幕の恋人たちの 2 つのアリアは、「纏まった聴かせどころ」として明確に打ち出し、主人公の小アリア〈わしが小姓であったころ〉のような、「ロザさみやすい名旋律」も盛り込むなど、客席の耳に残るメロディを幾つも提供した。なお、本作は、ヴェルディとしては実に、50 数年ぶりの喜劇となったが、この作品で彼は、積年の思いを幾つも結晶させたようである。まずは、大先輩ロッシーニから言われたという「貴男は悲劇の方が向いている」を本作の成功で覆したこと。続いては、独人ニコライの嫌な思い出を — ニコライは自分が蹴った《ナブッコ》の台本で大成功したヴェルディを妬んだ — 払拭したこと。ヴェルディは、仇敵の代表作《ウィンザーの陽気な女房たち》を遥かに上回る成功を同じ題材の《ファルスタッフ》で収めて一矢報いたのである。そして最後に、本作の幕切れを見事なフーガで飾ったこと。かつて、ミラノの音楽院の受験時に「対位法が弱い」として不合格を喰らった自分が、自己研鑽を重ねた結果、「当代一の対位法の使い手」になったものと、彼は自ら世に知らしめた。

## ●チケット好評発売中！

S席 ¥18,000 A席 ¥15,000 B席 ¥12,000 C席 ¥9,000 D席 ¥6,000 E席 ¥3,000 (税込)

・青春割引

B席～E席：2,000円 (25歳以下／枚数限定／座席指定不可)

・ヤング・フレッシュマンチケット

S席～A席：半額 (25歳以下／枚数限定)

・障がい者割引

S席～C席：20%割引 (要お問い合わせ／枚数限定)

### 藤原歌劇団創立 90 周年記念チケット

[1] シャンパン付きペアチケット：¥38,000 (S席×2枚)

・有料プログラム (販売価格¥1,000) 2冊付き

・シャンパンチケット 2枚付き (アルコール以外のドリンクも選択可)

※11月1日締め切り

[2] 【ディナー向け】 レストラン「フォレスティージュ精養軒」ペアお食事券付きチケット：¥46,000 (S席×2枚)

・有料プログラム (販売価格¥1,000) 2冊付き

・コースメニュー『オペラ (一名様定価¥5,500)』を、終演後にお楽しみいただけます。

※お食事は開演前にお召し上がりいただくことも可能です。(11:00～19:00)

※レストランでお飲みになるドリンクはご負担ください。

[3] 【ランチ向け】 レストラン「フォレスティージュ精養軒」ペアお食事券付きチケット：¥42,000 (S席×2枚)

・有料プログラム (販売価格¥1,000) 2冊付き

・コースメニュー『フォレスティージュセット (一名様定価¥3,300)』を、開演前にお楽しみいただけます。

※お食事は終演後にお召し上がりいただくことも可能です。(11:00～19:00)

※レストランでお飲みになるドリンクはご負担ください。

※各種割引チケット、藤原歌劇団創立 90 周年記念チケットは、日本オペラ振興会チケットセンターへのお電話のみで取り扱い

●お問い合わせ・予約

日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874 (平日 10:00～18:00)

【座席選択可・PC&スマートフォン】 <https://mmct.jcity.com/?c=68&e=nhfARdwvgIdEMBgpnTKT%3DQ11>

## 〈主要キャスト・スタッフプロフィール〉

### 指揮 時任康文

### Yasufumi TOKITO

武蔵野音楽大学器楽科卒業後、東京音楽大学指揮科に学ぶ。指揮を紙谷一衛、汐澤安彦両氏に師事。在学中より二期会、日生劇場を中心に音楽スタッフとして小澤征爾氏、秋山和慶氏、若杉弘氏等のアシスタントを務める。1990年「東京の夏」音楽祭に於いて、カールマン作曲オペレッタ「チャールダッシュの女王」を指揮してデビュー。その後、数々のオペラ団体と共に、オペラの主な作品を指揮する。またオーケストラへの客演も多く、東京交響楽団、東京フィルハーモニー、日本フィルハーモニー、名古屋フィルハーモニー、神奈川フィルハーモニー等を指揮し好評を博す。96年度文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊。N.サンティ氏のアシスタントとして、チューリッヒ歌劇場、メトロポリタン歌劇場等と同行し研鑽を積む。01年、ウズベキスタン・カザフスタンに於いて、故園伊玖磨氏の意志を引き継ぎオペラ「夕鶴」を指揮。新国立劇場小劇場シリーズでC.オルフ作曲「賢い女」を指揮し好評を博す。東京オペラプロデュース公演にてV.ウイリアムス作曲オペラ「恋するサー・ジョン」の本邦初演を指揮。その後マルシュナー作曲「ヴァンパイア」、シャンパルティエ作曲「ルイズ」、ジョルダノ作曲「マダム・サンジェウス」、アルファード作曲「シラノ・ドゥ・ベルジュラック」、ジョルダノ作曲「戯れ言の饗宴」、レスピーギ作曲「バルファゴール」等の本邦初演オペラを指揮した。昭和音楽大学教授、武蔵野音楽大学講師、洗足学園音楽大学講師。



### 演出 岩田達宗

### Tatsuji IWATA

東京外国語大学フランス語学科卒業。劇団「第三舞台」を経て、舞台監督集団ザ・スタッフに参加し、オペラの舞台製作にかかわる。1991年より栗山昌良氏に演出助手として師事。五島記念文化財団奨学生として98年より欧州各地で研鑽を積む。帰国後、本格的に演出家として活動を始め、新古典主義の作品から現代の日本オペラまで数多くの公演で高い評価を得る。日本オペラ協会では01年「キジムナー時を翔ける」でデビュー以降「葵上」「美女と野獣」「天守物語」「よさこい節」「夕鶴」等、藤原歌劇団では07年「ラ・ボエーム」で初演出以降「ラ・ジョコンダ」「ルチア」「夢遊病の女」「ラ・トラヴィアータ」「カルメン」「ドン・ジョヴァンニ」を手掛け、独創的で卓抜なアイデアによる舞台造りは聴衆を魅了し続けている。リモートによる講義「岩田達宗道場」が開講されるなど、現在日本を代表するオペラ演出家の一人である。07年よりいづみホール・オペラのプロデューサー、21年よりひろしまオペラルネッサンスの芸術監督を務めている。第7回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。06年度音楽クリティック・クラブ賞受賞。大阪音楽大学客員教授。昭和音楽大学講師。兵庫県出身。



### ファルスタッフ役 (2/1) 上江隼人

### Hayato KAMIE

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。2005年に第34回(財)江副育英会オペラ奨学生として、08年に明治安田クリオタイプ財団の奨学生として渡伊。06年ディマロの“Val di sole”イタリア音楽コンクール優勝。11年ヴェルディ・フェスティバル(パルマ王立歌劇場主催)「イル・トロヴァトーレ」のルーナ伯爵で国際的評価を得て、ブッセート、フィデンツァの両劇場にも出演。国内では、二期会公演をはじめ、新国立劇場「アンドレア・シェニエ」ルーシェ、NISSAY OPERA 2016「セビリアの理髪師」フィガロ、18年には新国立劇場開場20周年記念特別公演「アイーダ」アモナズロで出演し、好評を得た。藤原歌劇団には、19年「ラ・トラヴィアータ」のジェルモンで初登場し、同年「ランスへの旅」ドン・アルヴァーロ、「リゴレット」タイトルロール、「ラ・ボエーム」マルチェッロ、「ジャンニ・スキッキ」タイトルロール、「イル・トロヴァトーレ」ルーナ伯爵、23年「二人のフォスカリ」フランチェスコ・フォスカリで出演。その他、21年新国立劇場「チェネレントラ」ダンディーニ、23年日本フィル「道化師」トニオでいずれも高い評価を得た。国内外で高い評価を得るバリトンの逸材として、注目を集めている。NHKニューイヤーオペラコンサートに連続出演するなど人気は高く、東京フィルを始めオーケストラとも共演を重ね、各種コンサートでソリストとしても活躍している。第24回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。「上江隼人 バリトンリサイタル 2020」が令和2年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。藤原歌劇団団員。千葉県出身。<https://www.hayatokamie.com>



## ファルスタッフ役 (2/2) 押川浩士

Hiroshi OSHIKAWA

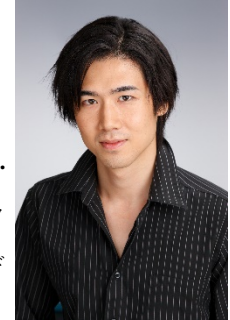
国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第 22 期生修了。アレツォ市コンクールの勝利者として、「ラ・ボエーム」のマルチェロでイタリアデビュー。藤原歌劇団には、11 年「セビリヤの理髪師」フィオレッロでデビュー以降、「ランスへの旅」ドン・ブルデンツィオ及びドン・プロフォンド、「ドン・パスクワレ」マラテスタ、「カルメン」モラレス及びダンカイロ、「セビリヤの理髪師」フィガロ、「ラ・チェネレントラ」ダンディーニ、「ドン・ジョヴァンニ」レボレッロ、「トスカ」堂守、「劇場のわがままな歌手たち」アガタ、「二人のフォスカリ」フランチェスコ・フォスカリ、「ラ・ボエーム」同役で出演し、いずれも好評を得ている。その他「フィガロの結婚」アルマヴィーヴァ伯爵、「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロール、「愛の妙薬」ベルコーレ及びドゥルカマーラ、「ジャンニ・スキッキ」タイトルロール、「ファルスタッフ」タイトルロール、「メリー・ウィドー」ダニコ、「こうもり」アイゼンシュタイン及びファルケ、「道化師」トニオ及びシルヴィオ、「カルメン」エスカミーリョ、「夕鶴」運ず、「ウェルテル」アルベール等のオペラの他、ミュージカルにも出演し、幅広く活躍している。新国立劇場には、11 年こどものためのオペラ劇場「パルジファルとふしぎな聖杯」のアンフォルタスでデビュー。その他、フォーレ「レクイエム」、「第九」等のソリストや、日本歌曲の演奏会等、各地でコンサートに出演している。藤原歌劇団団員。洗足学園音楽大学非常勤講師。宮崎県出身。高鍋町ふるさと応援大使。<https://hiroshioshikawa.amebaownd.com>



## フォード役 (2/1) 岡 昭宏

Akihiro OKA

国立音楽大学卒業、東京藝術大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第 10 期生修了。平成 22 年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修生として渡伊。第 44 回イタリア声楽コンコルソ第 1 位・シエナ大賞受賞。第 12 回東京音楽コンクール第 1 位及び聴衆賞受賞。第 82 回日本音楽コンクール第 3 位。第 26 回市川市文化財団新人演奏家コンクール最高位受賞。第 29 回練馬区新人演奏会オーディション最優秀賞受賞。10 年パシフィック・ミュージック・フェスティバル (PMF) 「ラ・ボエーム」のマルチェロで世界的指揮者 F・ルイーゼと共演。12 年ジェノヴァにて「ドン・カルロ」のロドリゴでイタリアデビュー。藤原歌劇団には、16 年「愛の妙薬」ベルコーレでデビューし、「道化師」シルヴィオ、「清教徒」リッカルド、「コジ・ファン・トゥッテ」グリエルモ、「ファウスト」のヴァランタンで出演。日本オペラ協会には、20 年「紅天女」楠木正儀、22 年「源氏物語」光源氏で出演。新国立劇場では、「サロメ」のカッパドキア人で出演し、同役 (演奏会形式) で NHK 交響楽団と共演。また、日生劇場開場 55 周年記念公演/ニッセイ名作シリーズ 2018 モーツァルト・シリーズ「コジ・ファン・トゥッテ」グリエルモ、アトリオン音楽ホール・コンサートオペラ Vol.6 「ラ・ボエーム」ショナール、東京芸術劇場コンサートオペラ vol.7 「ジャミレ」スプレンドリアーノ、東京文化会館オペラ BOX 「泣いた赤おに」青おに、「Help! Help! グロボリンクスだ！」トニー等出演。2019 年香川県芸術文化新人賞受賞。2020 年よんでん文化芸術奨励賞受賞。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。香川県出身。<http://okaakihiro.wix.com/okaakihiro>



## フォード役 (2/2) 森口賢二

Kenji MORIGUCHI

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。2001～ 03 年及び 06～ 08 年に文化庁新進芸術家海外派遣 制度研修員として渡伊。第 35・36 回日伊声楽コンコルソ、第 68 回日本音楽コンクール声楽部門、第 47 回ヴェルディの声国際コンクール入選。第 22 回飯塚新人音楽コンクール、第 36 回ローマフェスティヴァル 2007 国際コンクール第 1 位。留学中、ローマのオリピコ劇場等、各地でオペラやコンサートに出演。03 年愛知県芸術劇場「異説・カルメン情話」エスカミーリョをはじめ、帰国後は各地で「ルチア」「リゴレット」「トスカ」等出演の他、富山オーバード・ホール/ミョンフン指揮「カルメン」「ラ・ボエーム」、産経新聞社主催/ルイゾッティ指揮「蝶々夫人」、日本オペラ団体連盟主催人材育成オペラ公演「ジャンニ・スキッキ」、サントリーホール 20 周年記念公演/ブルゾン共演「ファルスタッフ」などで好演。藤原歌劇団には、06 年「ランスへの旅」トロンボノク男爵でデビュー 後、「愛の妙薬」ベルコーレ、「セビリヤの理髪師」フィガロ、「ラ・ボエーム」ショナール、「オリイ伯爵」ランボー、「ファルスタッフ」フォード、「ラ・トラヴィアータ」ジェルモン、「仮面舞踏会」レナート、「ドン・パスクワレ」マラテスタ、「道化師」シルヴィオ、「イル・カンピエッロ」アストルフィに出演し、いずれも好評を博している。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。神奈川県出身。<http://operaland.ciao.jp/kenjimoriguchi/>



## フェントン役 (2/1) 中井亮一

Ryoichi NAKAI

山口県周防大島町出身。名古屋芸術大学音楽学部声楽科を首席で卒業、同大学大学院修了。NPO 法人イエロー・エンジェルズの奨学生として 05 年イタリアに留学。ミラノ音楽学校で学んだ後、スカラ座音楽院オペラ研修所合唱団員養成コースで研鑽を積みディプロマを取得。その間、スカラ座公演「コジ・ファン・トゥッテ」に合唱として計 11 公演に出演。その他、イタリア各地で「ラ・トラヴィアータ」「結婚手形」「ドン・パスクアーレ」「道化師」等のオペラ、「06 年ヴェネツィア音楽祭」をはじめとする各種コンサートに多数出演。07 年にはロッシェニ・オペラ・フェスティバル「ランスへの旅」のベルフィオーレに出演し、「L'Opera」誌、朝日新聞、音楽の友誌等で好評を得た。その成功を受けて 08 年フェニーチェ歌劇場での「ロッシェニ・ガラ・コンサート」ではソリストに抜擢された。



藤原歌劇団には 10 年「タンクレーディ」のアルジューリオでデビューを果たし、12 年「夢遊病の女」のエルヴィーノを好演し、15 年「ファルスタッフ」フェントン、15 年「ランスへの旅」騎士ベルフィオーレで出演。その他各地で「ラ・ボエーム」「愛の妙薬」「魔笛」等多数のオペラに出演しており、13 年には兵庫県での佐渡裕プロデュースオペラ「セビリャの理髪師」の伯爵役で 6 公演に出演した。また「第九」「メサイア」などの合唱曲ソリストとしても 20 作品以上に出演。平成 26・27 年度公共ホール音楽活性化事業・登録アーティスト。

名古屋芸術大学講師。藤原歌劇団団員。愛知県在住。

## フェントン役 (2/2) 清水徹太郎

Tetsutaro SHIMIZU

京都市立芸術大学卒業、同大学大学院修了。第 33 回飯塚音楽コンクール第 1 位、文部科学大臣賞受賞。第 9 回東京音楽コンクール第 3 位、第 82 回日本音楽コンクールファイナリスト、第 20 回 ABC 新人オーディション音楽賞、2012 年度音楽クリティッククラブ奨励賞、第 38 回灘ライオンズクラブ音楽賞など受賞多数。マスタークラスオペラアカデミー in スタディオアマデウス第一期特待研修生修了。指揮者からの信頼も厚く、マダム・バタフライコンクールにおいてはオーケストラ及び指揮者より特別賞が授与された。オペラでは、「カルメン」ドン・ホセ、「夕鶴」与ひょう、「ラ・トラヴィアータ」アルフレード、「魔笛」タミーノ、「オテロ」カッシオ、「ファルスタッフ」フェントン、「業平」タイトルロールなどの他、2017 年びわ湖ホールプロデュースオペラ「ラインの黄金」ローグ、同年 NHK 音楽祭フェドセーエフ指揮「エフゲニー・オネーギン」トリケでの活躍は、高い評価を得た。2018 年日生劇場「魔笛」僧侶、兵庫県芸術文化センター／佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ「魔弾の射手」キリアン、2023 年日生劇場「メデア」ジャゾーネで好評を得ている。室内楽・宗教曲等では、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」エヴァンゲリスト、「第九」「合唱幻想曲」「メサイア」「天地創造」「カルミナ・ブラーナ」など多数のソリストとして活躍している。藤原歌劇団団員。びわ湖ホール 4 大テノール。大阪音楽大学、京都市立芸術大学各非常勤講師。兵庫県出身。



文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)） | 独立行政法人日本芸術文化振興会  
都民芸術フェスティバル参加公演  
藤原歌劇団創立 90 周年記念公演  
総監督 折江忠道  
G.ヴェルディ作曲「ファルスタッフ」  
Giuseppe Verdi / FALSTAFF

オペラ全3幕 (字幕付き原語 (イタリア語) 上演) ニュープロダクション

【公演日程】2025年2月1日(土)・2日(日) 14:00 開演

【会場】東京文化会館 大ホール

【チケット料金】S席¥18,000 A席¥15,000 B席¥12,000 C席¥9,000 D席¥6,000 E席¥3,000 (税込)

【藤原歌劇団創立90周年記念チケット】

[1] シャンパン付きペアチケット：¥38,000 (S席×2枚)

[2] 【ディナー向け】レストラン「フォレストィーユ精養軒」ペアお食事券付きチケット：¥46,000 (S席×2枚)

[3] 【ランチ向け】レストラン「フォレストィーユ精養軒」ペアお食事券付きチケット：¥42,000 (S席×2枚)

総監督 折江 忠道  
General Artistic Director Tadamichi ORIE  
指揮 時任 康文  
Conductor Yasufumi TOKITO  
演出 岩田 達宗  
Stage Director Tatsuji IWATA

ファルスタッフ	上江 隼人	押川 浩士
Sir John Falstaff	Hayato KAMIE	Hiroshi OSHIKAWA
フォード	岡 昭宏	森口 賢二
Ford	Akihiro OKA	Kenji MORIGUCHI
フェントン	中井 亮一	清水 徹太郎
Fenton	Ryoichi NAKAI	Tetsutaro SHIMIZU
アリーチェ	山口 佳子	石上 朋美
Alice	Yoshiko YAMAGUCHI	Tomomi ISHIGAMI
ナンネッタ	光岡 暁恵	米田 七海
Nannetta	Akie MITSUOKA	Nanami YONEDA
メグ・ページ	古澤 真紀子	北蘭 彩佳
Meg Page	Makiko FURUSAWA	Saika KITAZONO
クイックリー夫人	松原 広美	佐藤 みほ
Mistress Quickly	Hiromi MATSUBARA	Miho SATO
カイウス	所谷 直生	及川 尚志
Dr Caius	Naoki TOKORODANI	Takashi OIKAWA
バルドルフォ	井出 司	川崎 慎一郎
Bardolfo	Tsukasa IDE	Shinichiro KAWASAKI
ピストーラ	伊藤 貴之	小野寺 光
Pistola	Takayuki ITO	Hikaru ONODERA

合唱 藤原歌劇団合唱部 Fujiwara Opera Chorus Group  
管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra

合唱指揮 須藤 桂司  
Chorus Master Keiji SUDO  
美術 松生 紘子  
Scenery Designer Hiroko MATSUO  
衣裳 下斗米 大輔  
Costume Designer Daisuke SHIMOTOMAI  
照明 大島 祐夫  
Lighting Designer Masao OSHIMA  
振付 古賀 豊  
Choreographer Yutaka KOGA  
舞台監督 菅原 多敢弘  
Stage Maneger Takahiro SUGAHARA  
副指揮 安部 克彦 / 玉崎 優人  
Assistant Conductor Katsuhiko ABE / Masato TAMASAKI  
演出助手 橋詰 陽子  
Assistant Stage Director Yoko HASHIZUME

公演特設サイト <https://www.jof.or.jp/performance/2502-falstaff-tokyo>

【お問い合わせ・予約】

日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874 (平日 10:00～18:00)

【チケット販売所】

- ・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード: 267-160)
- ・イープラス <https://eplus.jp>
- ・ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード: 34165)
- ・teket <https://teket.jp/9911/37375>
- ・東京文化会館 <https://www.t-bunka.jp/tickets/index.html>  
チケットサービス 03-5685-0650

〈あらすじ〉

**第1幕**

ヘンリー四世が治めるイングランド王国のウィンザー。

〔第1場：宿屋ガーター亭にて〕

太っちょの老騎士ファルスタッフ (Br) と、使用人のバルドルフォ (T)、ピストーラ (B) の前に医師カイウス (T) が現れ「お前の使用人2人は泥棒だ！」と老騎士に詰め寄るが、あっさりと追い返される。宿屋の主人



(黙役)が請求書を出すと、ファルスタッフは「金がないから市民層の金持ちの細君を誘惑してやれ」と計画。バルドルフォにはフォード夫人アリーチェ(S)へのラブレターを言付け、ピストーラには別の男の妻メグ(Ms)に宛てた手紙を渡す。使用人たちは「恋文を取り持つなど、沽券にかかわる！」と拒む。ファルスタッフは怒り、二人を追いかける。

〔第2場：フォード邸の庭〕

アリーチェとメグは手紙をそれぞれ受け取るが、たまたま「文面が全く同じ」と知り、「これは許せないわ」と言って、友人クイックリー夫人(Ms)とアリーチェの娘ナンネッタ(S)と四人で、「あの太っちょを罰してやる！」と決意。一方、バルドルフォとピストーラは、紳士フォード(Br)に主人の企みを密告する。そこでフォードは変装してファルスタッフのもとを訪れ、彼を出し抜こうとする。一方、ナンネッタには恋人の青年フェントン(T)がいるが、父のフォードは年上のカイウスと娘を結婚させると決め、ナンネッタは嫌がっている。ここで、一同の歌声が二組のアンサンブルになり、悪戯の仕返しを考える女たちと、目論見好き好きに述べる男たちの声が、巧妙に絡み合う。

## 第2幕

〔第1場：ガーター亭の一室〕

ファルスタッフのもとに、フォードの命を受けたうたちが舞い戻り、低姿勢で「再びお仕えしたい」と述べる。そこにクイックリーがアリーチェからの使者として登場。二重唱〈ご機嫌よろしゅう〉で大仰な挨拶を繰り返したのち、「アリーチェさんは、午後2時から3時までならお宅で独りですよ」と耳打ちする。ファルスタッフは喜び、ソロ〈行け！老練なるジョンよ！〉と自分に気合を入れていると、変装したフォードがフォンターナという偽名で現れ、「自分はアリーチェさんに恋をしているが、彼女の貞操は堅い」と述べ、「お金を払うので、貴方に彼女の頑なさを解きほぐして貰いたい」と頼む。するとファルスタッフは「実は、今日の2時から彼女と逢引きの予定でした」と伝え、着替えすべく別室に向かう。残されたフォードは愕然とし、モノローグ〈夢か現か〉を歌うが、戻った老騎士の前では何とか平静を取り繕い、一緒に宿屋を出てゆく。

〔第2場：フォード邸〕

夫人たちは計画を巡らすが、父親から「カイウスと結婚せよ」と言われるナンネッタは不安に駆られるのみ。でも、「そんなことはさせないわ」と皆で安心させる。老騎士が到着し、小アリア〈わしが小姓であった頃〉を口ずさみ、アリーチェを口説こうとするが、メグが飛び込んできて「ご主人が帰ってきたわ！」と告げるので、ファルスタッフは大きな洗濯籠の中に隠れる。物陰ではナンネッタとフェントンが抱き合うが、フォードと配下の者は家じゅうを探し回り、結果、物陰に居た恋人たちを見つけてしまう。それでひと騒動になるが、その隙に、女たちは洗濯籠を窓からテムズ川に落とすことに成功。大きな水音に一同は笑い声をあげる。

## 第3幕

〔第1場：ガーター亭の前〕

ずぶ濡れになったファルスタッフは嘆くが、ワインが体を温め、元気を取り戻す。クイックリー夫人が現れるので、彼は怒りを爆発させるが、夫人に再び言いくるめられて、今度はアリーチェと真夜中に公園で逢引きすると承諾する。一方、フォードは妻を疑ったことを詫び、女たちと共に太っちょの老騎士を罰するべく、「お化け話に絡んだ計画で懲らしめよう」と話す。そこでナンネッタは妖精の女王に変装することになるが、フォードはカイウスに僧侶の衣裳を着せ、どさくさに紛れて二人を結婚させてしまおうと企む。しかし、その言葉を耳にしたクイックリーが、そうはさせまいと急いで場を離れる。

〔第2場：月明りが照らす公園。大きなオークの木の下〕

フェントンが現れ、恋の喜びを**アリア〈唇から喜びの歌が〉**を歌う。ナンネッタと夫人たちも到着し、フェントンも僧侶の姿に変装させ、フォードの計画を阻むことにする。ナンネッタは妖精の女王の姿で**アリア〈夏のそよ風吹く上を〉**を歌いながら闇に隠れる。ファルスタッフが現れてアリーチェと言葉を交わすが、変装した人々が彼をこづくので呻き声をあげる。しかし、バルドルフォが自分を叩いていると気づいたファルスタッフは、俄然勢いを取り戻し、怒鳴りちらす。しかし、フォードが自分の正体を明かすので、ファルスタッフは報いを受けたことを悟る。フォードは「この場で結婚式を開く」と宣言し、僧侶姿のカイウスと妖精の女王が入場。すると、仮装した別のカップルが現れ、アリーチェのとりなしで、彼らも式を挙げてもらう。

しかし、蓋を開けてみると、カイウスの相手は女装したバルドルフォ、もう一組はナンネッタとフェントンと分かる。そこでフォードは紳士らしく鷹揚さを見せ、全てを認めるので物語は大団円に。ファルスタッフが音頭を取り、締め括りの**フーガ〈世の中みんな冗談だ！〉**を全員で歌い上げ、華々しく幕を下ろす。

(岸 純信)